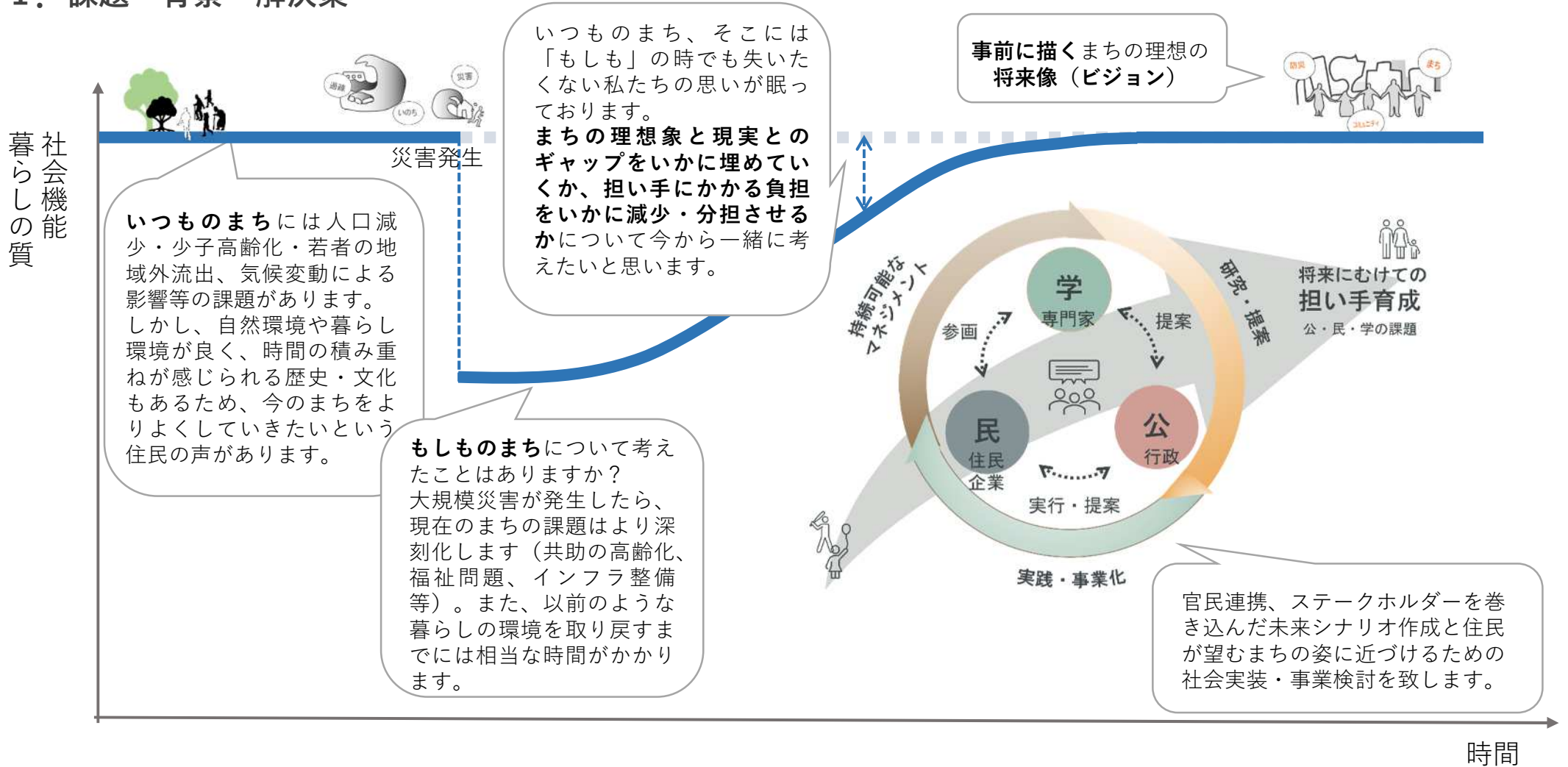


「いつものまち」と「もしものまち」の両方から考える未来シナリオ作成と担い手育成

1. 課題・背景・解決策



2. 導入効果

行政

- 自治体職員ワークショップ2回程度で災害発生時も含めた地域の課題抽出が可能
- バックカスティングで住民が理想とする地域の将来像実現のためのシナリオ・事業計画検討・検証の構築

住民

- まちづくり・まちづかいに関する隠れニーズの把握ができ、地域の価値の再発掘が可能
- まちづくりへの参画による住民・ステークホルダーのシビックプライドの向上

